

# 大切な住まいをいつまでも美しく。 安全で快適な暮らしに小冊子をお役立てください。

お住まいはご家族の方にとって生活の中心であり、くつろぎの場です。

また、大切な財産でもあります。

安全な、そして快適なお住まいは、誰もが望むところですが、適切な使用と安全のための配慮を怠ると良好な居住環境や住む方の健康を損なうこともあります。

安全で快適な住まいを実現するためには、

適切な住まい方と日頃の上手なお手入れが必要なのです。

海外では、住居のお手入れをウィーク・エンドの楽しみとし、

住宅としての価値を高めて、いつまでも美しく快適なお住まいであり続けることを、

ひとつの理想的な住まい方と考えているようです。

「お住まいのしおり」には、安全で快適な暮らしを実現するための安全上の注意点、そしてお手入れのポイントを記載しています。

新しいお住まいでの暮らしをスタートさせるにあたって、

是非、この「お住まいのしおり」をお読みいただき、

いつまでも快適なお住まいを実現していただきたいと思います。

## 目次

入居にあたって	1
お住まいのしおり	2
第1章 安全に関するご注意	2
第2章 日常生活の安心・安全のために	4
第3章 快適に暮らすためのポイント	11
住まい方と注意点	14
住まいの手入れの目安	15

## 入居にあたって

1. 給水装置・電気の開始及び名義変更は、お客様にて手続きをお願いします。
2. ガス開栓(都市ガス及びプロパンガス)については、お客様にて手続きをお願いします。  
※開栓の際は、お客様の立会が必要です。  
また、時間は午前・午後のいずれかを設定下さい。(時間指定は出来ません)
3. TVアンテナ、電話通信工事についてはお客様にて手続きをお願いいたします。
4. 引き渡し時に、器具の取扱説明書をお渡ししますが、ひと通り目を通して実際に器具を取り扱っていただき、確認下さるようお願いいたします
5. 電気温水器をご使用の場合は、ブレーカーをOFFにしないで下さい。  
OFFにすると、深夜電力のため、お湯の沸き上げが出来ません。  
また、温水器のタンクに水が満水になっているかご確認ください。  
冬季の引渡し時においてもブレーカーをOFFにしないようお願いいたします。また、給湯器の電熱ヒーターをコンセントに差し込んであるかご確認ください。  
ガス給湯器には凍結防止ヒーターが付いておりますので冬場はブレーカーをOFFにしないで下さい。
6. 引渡し後の建物等の管理責任者は、お客様になります。戸締り等のご確認を宜しくお願いします。
7. 玄関ドアに電子式の錠前がついている場合のセッティングはお客様にてお願いします。
8. 基礎が半地下形式の住宅で排水にポンプを使用している場合、ブレーカーをOFFにしないようお願いいたします。

# お住まいのしおり

## 第1章 安全に関するご注意

お客様が新築されたお住まいは、ご家族の快適なくつろぎの空間でなければなりません。しかし使い方を一歩誤ると事故やケガを引き起こしかねない危険が、お住まいの中には潜んでいます。そのなかでも特に危険性の高い事例について、本章でご紹介します。また「日常生活の安心・安全のために」と「快適に暮らすためのポイント」の章でもその他の安全に関する情報を説明していますので必ずお読みください。

### 1 「危険」「警告」「注意」の意味

	<b>危険マーク</b> 取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険性が切迫して生じる事が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください
	<b>警告マーク</b> 取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険性が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください
	<b>注意マーク</b> 取扱を誤った場合に、使用者が障害を負う危険性及び物的損害の発生が想定されます。
	<b>一般的留意点</b> 安全確保のため、念のため注意していただきたいということを意味しています。

### 2 お住まいに潜む危険の内容

本住宅には、以下のような危険の可能性がります。

	<ul style="list-style-type: none"><li>●ガスくさい時に火気を使用したり、電気器具のスイッチを入れると、爆発や火災の危険があります</li><li>●締め切った屋内でのガス器具の使用は、一酸化炭素中毒の危険があります。</li></ul>
---	---

 **警告**

- 設備機器は取扱いを誤ると、大きな事故につながる恐れがあります。取扱説明書を遵守してください。
- バルコニーに空調機・室外機等足掛かりとなるようなものを設置すると、お子様が転落する危険があります。
- 庭には電気の配線・ガスの配管等が埋められており、これらを傷つけると感電・ガス漏れなどの危険があります。
- 湯沸器やガスコンロの使用中に換気を怠ると、一酸化炭素中毒の危険があります。
- アース線をアースターミナルに接続しないと、漏電や感電の危険があります。
- 壁内部に配線等がありますので釘・ビス打ちするとショートや感電の危険があります。
- コンセントに付着したホコリやゴミは加熱により、火災を引き起こす恐れがあります。
- 暖房機器使用時に換気を怠ると酸欠や一酸化炭素中毒の危険があります。

 **注意**

- バルコニーに物置や重量物を設置すると、落下や破損の恐れがあります。
- ピアノなどの重量物は、事前に定めた位置に置かないと建物が変形する恐れがあります。
- 吊戸棚に重いものを詰め込み過ぎると、吊戸棚が落下したり傾いたりする恐れがあります。
- 浄化槽を使用の場合は、便器の清掃に酸性、アルカリ性洗剤を使うと浄化作用がなくなる恐れがあります。
- 浴室はいろいろなもので滑りやすく、転倒の恐れがあります。
- 浄化槽の蓋をきちんと閉めない、お子様などが落下する危険があります。
- ガス器具に安全マークや合格マークが付いていないものを使うと、事故が発生する恐れがあります。
- 古いガスホースを使用していると、ガス漏れを起こす危険があります。
- 給湯器の給排気口は加熱されているので触るとヤケドの恐れがあります。
- 給湯器の給排気口をふさぐと、不完全燃焼を起こし一酸化炭素中毒の危険があります。
- 照明器具に決められたワット数のものを使用しないと火災等を起こす恐れがあります。
- タコ足配線は火災の恐れがあります。
- 雪やつららの落下によって、思わぬケガや破損の恐れがあります。

## 第2章 日常生活の安心・安全のために

### 1 ご入居時の留意点

#### 鍵の保管・紛失

##### ●紛失した場合は、錠前ごと交換する

玄関ドアのカギを紛失すると、防犯のためにおドアの鍵本体を取り替えなければなりません。保管や小さいお子様に鍵を持たせる場合には、紛失しないよ充分に気を付けましょう。

##### ●電子錠の場合

鍵を持たないで外出しますと自動施錠しますので外出の際は必ず鍵をお持ち下さい。

#### 設備機器の取扱い説明書の遵守

##### ●転居または転貸時には、新しいご入居のために取扱説明書を残しておく

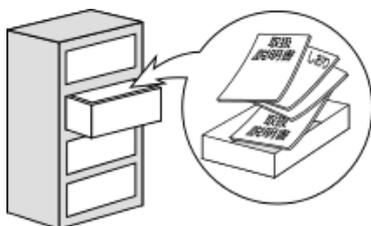
お住まいを転居される場合、もしくはどなたかにお貸しになる場合は、各設備の取扱説明書及び「お住まいのしおり」は所定のボックスに収め、新しい入居者のために残しておいてください。

#### 警告

##### ●使用前に必ず目を通し、1ヵ所に保管する

電気・ガス・水道・空調・弱電関連機器及び付属設備品に関して、本「お住まいのしおり」にて危険な行為の一部について説明しています。ただし、これらの設備は使用方法を誤ると重大な事故につながる恐れがありますから、使用前に必ず設備機器の取扱説明書をお読みください。

また、取扱説明書は「お住まいのしおり」と共にまとめて保管して下さい。当社では取扱説明書は引渡し時にお渡ししています(未設置の場合は除く)



### 2 お住まい方の注意点

#### ①建物外部/バルコニー

#### 注意

##### ●物置や重量物を設置しない

落下や破損の危険がありますから、バルコニーには物置や重量物を設置しないでください。

#### 警告

##### ●バルコニーからの転落

バルコニーに足掛かりとなるものがある場合は、お子様が上に乗って転落する恐れがありますので、充分ご注意ください。



#### 注意

##### ●排水口

バルコニーの排水口はこまめに清掃してください。雨漏れ等の原因となります。

#### ②建物外部/建物周囲

##### ●お住まいを支える基礎を傷つけない

お住まいの基礎を害するとお住まいの倒壊などの大きな事故につながる恐れがあります。次の点にご注意下さい。

- ①上下水道工事・植栽などで基礎の周囲を深く掘る時は、基礎を害することのないよう注意してください。まずは事前に当社アフターサービス担当にご相談願います。
- ②建物に近接して将来大木となるような樹木を植える場合は、成長にともなって根が基礎を破壊することがありますのでご注意ください。

### ③建物外部/床

#### ！注意

#### ●ピアノや書棚などの重量物を置く時



ピアノや書棚などの重量物を設置する時には、補強が必要な場合があります。また、重みを分散させるために必ず受け板を敷きましょう。

ピアノの重さは、たて型で200～250kg、グランドピアノで300～500kgあります。また書棚5段(1段の幅が約90cmとして)の本の重さは75～100Kg程度です。

※補強については当社までご相談ください。

#### ●玄関

ポーチタイルは自然石仕様の場合、変色する場合があります。

### ④建物内部/壁・地下室

#### ●仕上材

壁・天井のビニールクロスは建物の特性上、木材の乾燥収縮等により、スキ・ヨリ・段差が発生する場合があります。建物安全には問題ありません。

著しい場合は、当社アフターサービス担当までご連絡下さい。

#### ●カーテンレール

カーテンレールを取り付ける際は壁内の木下地の位置を確認の上、長めのビスで取り付けてください。窓枠(ケーシング)には取り付けしないで下さい。カーテンレールが下がったり、落下する場合があります。

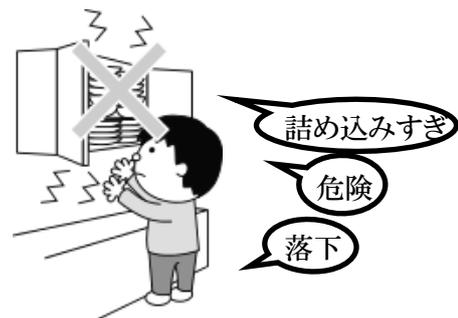
### ⑤建物内部/キッチン

#### ！注意

#### ●吊戸棚に重いモノを詰め込み過ぎない

重いモノを収納したり、お皿などを詰め込みすぎる

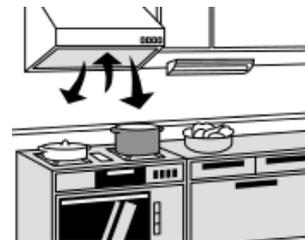
と、床板がそって扉の開閉がスムーズにいかなくなったり、止め具が緩んで吊戸棚が傾いたり落下する恐れがあります。



#### ！警告

#### ●調理中の換気

キッチンでガスコンロなどの調理器具を使用する際は必ず給気口を開けて換気扇を回してください。換気が充分でないと酸欠や一酸化炭素中毒などの危険があります。



### ⑥建物内部/トイレ

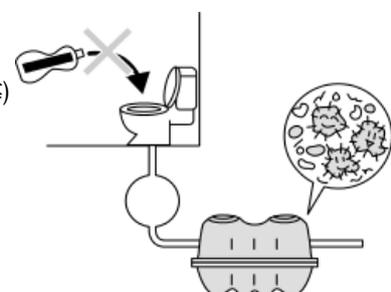
#### ！注意

#### ●浄化槽使用の場合、酸性・アルカリ性洗剤は使用禁止

浄化槽を使用している場合、便器の清掃時に酸性・アルカリ性洗剤を使用すると、浄化槽内の微生物が死滅し、浄化作用がなくなりますのでご注意ください。なお、お手入れの際は、中性洗剤を使われるようおすすめします。

節水タイプの便器が設置されてますのでトイレトーパーパー以外の異物を流すと排水が詰まる恐れがあります。

(流せるシート等)



## ⑦建物外部/浴室

### ！注意

#### ●滑らないようにご注意を

浴室は、水あか・石鹸、敷いたマットなどで滑りやすくなりますのでご注意ください。

## ⑧建物外部/洗面所

#### ●洗面シンク(流し)に熱湯は注がない

陶製の洗面シンクには、熱伝導率が極めて低いため、急激に熱湯を注ぐと、そこだけ急に膨張して割れることがあります。割れた破線でケガをしたり、ヤケドをする可能性がありますので、洗面シンクには熱湯を注がないで下さい。

特に陶器が冷える冬場は熱湯との温度差が大きくなり割れやすくなりますのでご注意ください。またFRP製の浴槽シンクは60℃以上の熱湯を注ぐと変色する恐れがありますのでご注意ください。

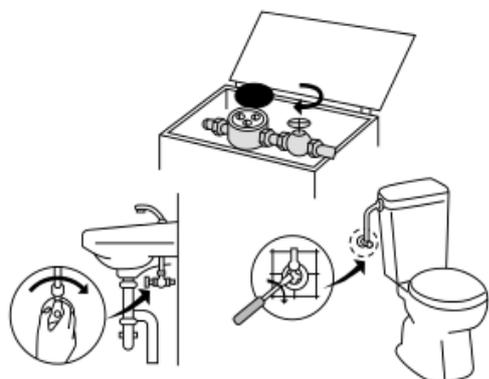


排水時に配水管が熱で膨張して排水管から音がする場合があります。

## ⑨建物外部/洗面所

#### ●水道の止水栓の役割と使用方法

本管から引き込まれた水道は、屋外のメーターボックス内にある止水栓を通り、メーターを経て配管



されています。止水栓を閉めれば、すべての給水を止めることができます。また、洗面化粧台や流し台の下には専用止水栓があり、その器具への給水給湯を止める事ができます。

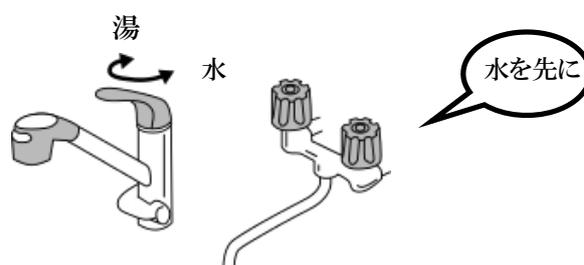
なお、水を使用していない状態で小メーター(赤色)が回っている時は、漏水の恐れがあります。当社アフターサービス担当までご連絡ください。

#### ●入居時の水道水はすぐに飲まずに、しばらく流す

設置したばかりの給水管や近隣で水道工事を行った直後の給水管には、水に油が混じっていたり濁りが出る場合がありますので、飲まないで下さい。この場合は、水栓を開け放してしばらく流しておくとお湯はきれいになります。

#### ●混合水栓の場合は水から先に出す

2バルブやワンレバーの混合水栓の場合必ず「水」から出すようにしてください。お湯から先に出すと熱湯が出ることもあり危険です。また止める時も、水栓金具内に熱湯が残らないよう、「湯」を先に止めるようにしてください。



#### ●混合水栓は再使用時に熱いお湯が出ることもある

混合水栓は再使用時に配管や給湯器内に残った熱いお湯が出る場合があります。いきなり手や体にかけるとヤケドする恐れがありますから、しばらく様子を見て使用するようにしてください。

## ⑩設備・機器/排水設備

### ●浄化槽の保守点検は専門業者に委託する

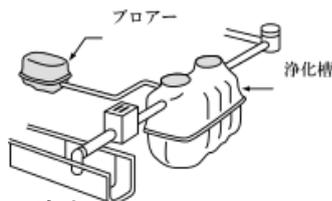
浄化槽の維持管理は「浄化槽管理士」が行うよう法律で定められています。自治体により多少異なりますが一般的には、確認申請時に浄化槽設置届けを自治体に提出し、自治体指定の維持管理店をご利用いただくことになっています。浄化槽の保守点検はその業者にお任せください。(有料)

### ●排水ポンプ槽の保守点検は専門業者に委託する

排水ポンプが故障すると水まわり設備の使用が制限されてしまいますので専門業者に保守点検をお願いしてください。(有料)

### ●浄化槽のプロアー(エアポンプ)の電源を切らない

プロアーの電源を切ると、槽内に空気が送り込まれなくなり、浄化槽内の微生物が死滅して浄化作用が低下し、悪臭の原因となります。絶対に電源を切らないようにして下さい。



### ！注意

### ●浄化槽への落下防止

浄化槽のフタ(マンホール)は、ずれたり、はずれたりするとお子様が落下する危険がありますので注意して下さい。



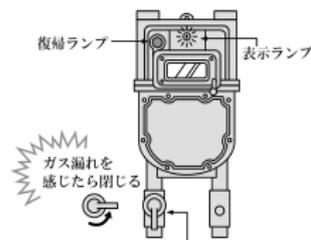
## ⑪設備・機器/ガス設備

### ●安全装置を装備したマイコンメーター

マイコンメーターとは、ガスメーターにマイコンを組み込んだ安全装置付のガスメーターです。マイコンメーターにはガス漏れの検査、異常流出の防止、ガスの異常使用の防止、地震対策などの機能があります。詳しい使用方法はガス会社の取扱説明書をご覧ください。

### ●ガス漏れを感じたらメインバルブを閉じる

ガスはメインバルブメーターを経て配管されています。配管については、工事中または工事完了後にテストを行っています。ガス漏れなど、万一異常が認められる時は、メインバルブを閉めて最寄りのガス会社へご連絡ください。



### ！危険

### ●ガス臭い時には、電気器具のスイッチは使用厳禁

お部屋がガス臭い時には絶対に火を使用しないでください。換気扇や、電気器具のスイッチの点滅も爆発の原因となります。あわてずに窓や戸を開け外の空気を入れ、ガス栓とメーターの元栓を閉めてください。ガス漏れの原因がはっきりしない場合は最寄りのガス会社にご連絡願います。

### ！注意

### ●安全・合格マークのついたガス機器を使用する

ガス器具は必ず安全マーク、合格マークが付いているものをお選びください。また、ガスは都市ガス、LPガスというように、地域によって種類が違い、さらに都市ガスはいくつかの種類に分かれています。ガス器具と供給されるガスの種類が合っていないと大変危険です。必ずガスの種類に合った器具をお使いください。



ガス器具用品検定合格証

ガス機器任意検査認定証

### ！危険

### ●ガス機器使用時は必ず換気する

閉め切った室内で長時間、ガス器具を使用すると燃焼に必要な酸素が足りなくなります。このような酸素不足状態になると、器具は不完全燃焼を起こし、人体に危険な一酸化炭素を発生します。給気口を開けるか

換気扇を回し、窓を開けて換気を行うなど、新鮮な空気を常に室内に取り込むようにして下さい。

### ●ガスコンロが不完全燃焼してないか？

#### 燃焼状態を確認する

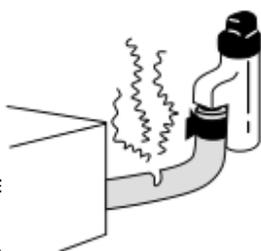
ガスコンロの炎が不安定だと、不完全燃焼を起こしてしまいます。バーナーの目詰まり、空気調整の狂いまた室内の酸欠などが原因として考えられます。原因を確かめ、正常な燃焼状態に直して下さい。



### ！注意

### ●ガスホースの痛みを定期的に点検する

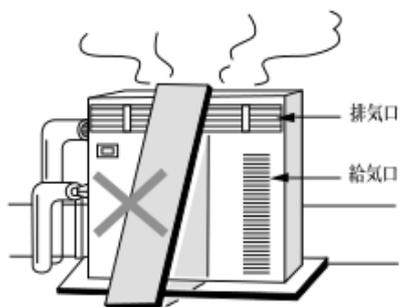
ガスホースが古くなると  
ガスが漏れやすくなります  
ゴム管は管に打ち込んで  
ある製造年度を確認し2年  
に1度は交換をして下さい。



### ！注意

### ●給湯器の排気口に近づかない。物を置かない

給排気口は加熱されています。ヤケドの恐れがありますから絶対に触れないで下さい。また、周りに燃えやすいモノや熱によって変形しやすいモノを決して置かないように心掛けてください。



### ●ガス給湯器には冬期の凍結防止用のヒーターが

設置されています。

ブレーカーを絶対にOFFにしないで下さい。

### ！注意

### ●給湯器の給排気口をふさがない

給排気口をふさぐと不完全燃焼を起こし、大変危険です。絶対に給排気口をふさがないようにして下さい。

### ⑫設備・機器/電気設備

### ●電気設備の取扱いは乾いた手で

電気器具の取扱いは、感電防止のため乾燥した手で操作して下さい。

### ●安全ブレーカーひとつの許容量は

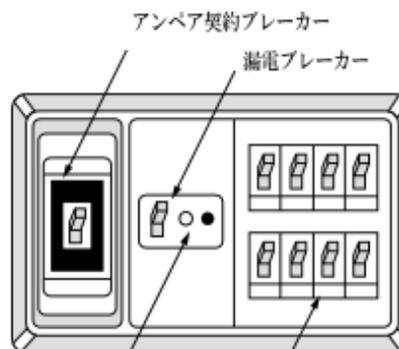
2000W・約20アンペア

安全ブレーカーはこれまでのヒューズに代わるものです。電気の使用量が許容量を超えると、安全ブレーカーが「切」になり、電気の供給が自動的に止まります。

### ●入居時には、まず分電盤のブレーカーを

「入」に

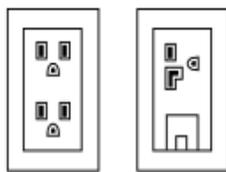
電線から各家庭に引き込まれた電気は、電力計から分電盤に入ります。分電盤には電力会社の契約ブレーカー漏電ブレーカー、回線別安全ブレーカーが並んでいますので、入居時にこれらのブレーカーにスイッチが入っていることを確認して下さい。



漏電ブレーカーが作動して切れた場合は、この表示ボタンを押してから「入」にする

### ●計画外の電気器具の購入時には連絡を

計画外の消費電力が1000W以上の器具、もしくは200V用の器具を購入された場合には専用回路と専用コンセントを設けることをお勧めしますので



200V用コンセント

購入販売店に相談していただくか電気工事店までご連絡ください。

### ●漏電ブレーカーの定期点検の実施

月に1回程度はブレーカーが正しく働くかどうかテストボタンを押して点検してください。

ブレーカーが正常なら、スイッチが切れ電気が消えます。点検が終了しましたら、ブレーカーを再び「入」の位置に戻してください。

### ●ブレーカーが切れたら、電気器具のスイッチを切り、ブレーカーを「入」に

電気の使用中に異常に大量の電気が流れると安全ブレーカーが切れます。ブレーカーを戻すには、余計に使われている電気器具のスイッチを切ると共に、器具のコードなどが損傷していないかを確認し、ブレーカーを「入」に戻してください。もし使用する器具を減らしても「切」になる場合は、配線のトラブルも考えられますので、当社のアフターサービス担当か、電気工事店までご連絡下さい。

### ●漏電ブレーカーは漏電を未然に防ぐ安全装置

漏電ブレーカーは回線のどこかに漏電があると、ただちに電気をストップし、感電や火災を防ぎます。

#### ⚠警告

### ●アース線はアースターミナルに接続する

万一、漏電しても、アースによって電気を大地に逃がしていれば、感電事故を避けることができます。アースターミナルがある、洗濯機などの

器具は、必ずアース線をアースターミナルに接続して下さい。アース線をガス管に接続するのは危険ですから絶対避けてください。また水道管もアース効果は期待



できません。アースの工事、漏電遮断機の取り付けは電気

工事士が行うことになっています。電気工事店にご依頼ください。

### ●漏電ブレーカーが切れた場合の応急処置方法

漏電ブレーカーが切れたら、次の手順で応急処置を行い、出来るだけ早く当社アフターサービス担当または電気工事店及び電力供給会社までご連絡下さい。

①回路別の安全ブレーカーのスイッチをすべて

切ります

②電気器具・配線器具に人が触れていないかを確認します。

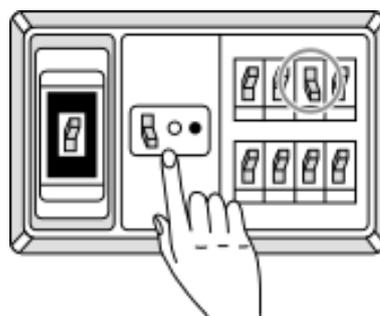
③漏電ブレーカーを「入」に戻します。

④回路別の安全ブレーカーをひとつづつ入れます。

⑤④の作業中に漏電ブレーカーが再び切れたら、その回路で漏電していることとなります。

⑥その回路の安全ブレーカーのスイッチを切り漏電ブレーカーを「入」に戻します。

④までの操作を行ってもブレーカーが切れなければ雷等のために間違っただけと考えられます。念のためテストボタンを押して、漏電ブレーカーが作動することを確認し、再度スイッチを「入」に戻してください。



#### ⚠注意

### ●照明器具は決められたワット数を守る

照明器具は決められたワット数のものを使用して下さい。加熱損傷や火災の原因となります。

### ●貯湯式給湯器の電源は切らない

電気温水器にはマイコン制御等が内蔵されています。故障の原因となりますから、外出時も絶対に電源を切らないで下さい。

**警告**

●壁に釘を打つ場合、釘を配線や配管に接触させない

壁に釘・ビスを打つと配線コードを傷つけ、ショートや感電の危険性があります。照明器具やコンセントスイッチなどの電気系統近くの壁に釘を打たないで下さい。また配管の通っているパイプスペース(PS)に釘やビスを打たないで下さい。

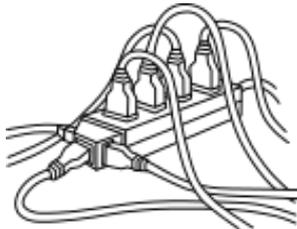


**注意**

●タコ足配線は過熱・発火の恐れがある

ちょっとした不注意から電気は過熱し、火災を引き起こします。次の点に充分気を付けて、安全に使用して下さい。

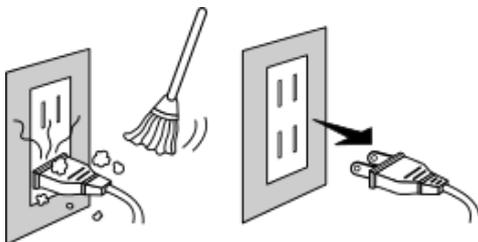
- ①タコ足配線はやめましょう
- ②コード、プラグの扱いは丁寧に



**警告**

●コンセントのホコリは発火の原因

コンセントやプラグにゴミにホコリが付着すると発火の原因となります。コンセント廻りのホコリは掃除し、長時間使用しない器具のプラグはコンセントから外して下さい。



⑬その他

●浴室テレビが装備されている場合

地デジ対応仕様となっております。

外部アンテナ、ケーブルテレビは工事店にお問い合わせください。尚、ケーブルテレビ会社により対応が異なりますので、ケーブルテレビ会社にご確認して下さい。

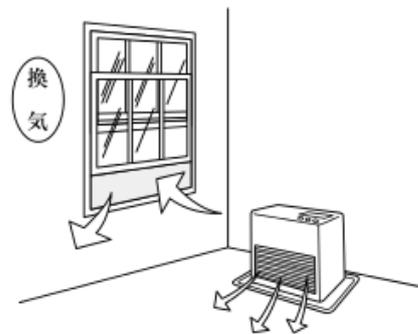
●引渡し直後は室内の定期的な換気・通気を

建物の仕上材についてはシックハウス対応商品を使用していますがお客様がお使いになる家具等にシックハウスを含んでいる場合がありますので定期的に、換気・換気を行って下さい。

**警告**

●暖房器具使用時の換気に注意

外部から給排気を行わないタイプの暖房器具などを使用する時は、一酸化炭素中毒の危険があります。充分な換気に心掛けてください。



**注意**

●降雪時の落雪に注意を

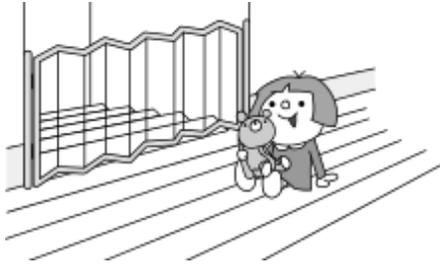
降雪時には、屋根に積もった雪が落下する恐れがあります。軒下に近づかないようし、車は移動して下さい。なお、プロパンガスの配管がはずれる場合がありますのでご注意ください。

## 第3章 快適に暮らすためのポイント

### ①お子様のいるご家庭で気をつけていただきたい事

#### ●子供を階段で遊ばせない(保護柵の設置)

お子様が転落する恐れがありますから、階段で遊ばないように注意するとともに、階段の昇り口と降り口に保護柵を設けて万全の対策を施しておきましょう。



#### ●バルコニーにいる子供から目を離さない

バルコニーや窓際は、お子様が大好きな場所ですが一歩誤ると転落・落下の恐れがあります。バルコニーや窓際にいるお子様からは目を離さず、また体が乗り出す足掛かりになるような家具や鉢植えなどは絶対に置かないで下さい。

### ②滑ったり、つまずいてケガをしないために

#### ●階段にはワックスを塗らない

階段にワックスがけをすると、滑って転落する恐れがあります。お手入れは、カラ拭きをする程度にしておきましょう。

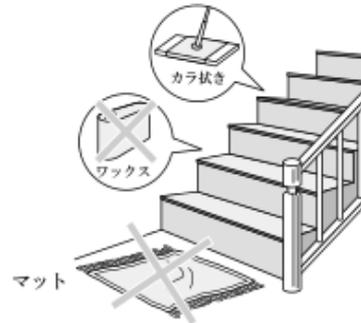
#### ●フローリングへのワックスの塗りすぎは転倒の原因

フローリングへのワックスの塗りすぎは転倒の原因となります。



#### ●階段の上や下にマットを置かない

階段の上や下にマットを敷くと、マットで足を滑らせて、転倒・転落の原因となりますのでご注意ください。



#### ●階段の下に鏡・ガラスを置かない

階段の下に鏡やガラスを置くと、転倒・転落した時、鏡やガラスで大きなケガをします。階段の下にはこれらのものを置いたり掛けたりしないでください。

#### ●階段の手すりのビスの緩みに注意

手すりの取り付け部のビスが知らぬ間に緩んでいることがあります。定期的に点検し、少しでも緩んでいたらすぐに締め付けましょう



#### ●網戸に寄りかからない

網戸は、寄りかかるとレールからはずれてしまいます。うっかり寄りかかったり、もたれたりすると、転倒や転落の恐れがありますのでご注意ください。  
(外にいらっしゃる方がけがをする場合があります。)

### ③ぶつかってケガをしないように

#### ●玄関ドアクローザーの調整を行う

ドアクローザーは油圧によってドアの開閉速度を調整しています。そのため冬と夏とでは油の粘度によって開閉速度に差が出てきます。ドアクローザー本体側面の速度調整弁によって速度の調整を行ってください。

### ④モノの落下によってケガをしないために

#### ●吊戸棚の角にぶつからないように注意する

モノを出し入れしやすい高さに吊戸棚を設置すると便利な反面、頭をぶつけてしまう恐れがあります。吊戸棚の角や開け放した扉に頭をぶつけないよう充分注意して下さい。



#### ●窓際に置いたモノの落下に注意する

出窓や窓際にモノを置いていると、風やはずみで窓の下に落ち、階下のご家族や通行人がケガをする恐れがあります。出窓や窓枠の上はもちろん、窓際の棚や机にモノを置く場合は落下に注意してください。

#### ●重い照明器具の設置には天井の補強が必要

天井に照明を取付ける場合は、木下地のある場所にしっかりと固定してください。また3~4kg以上の照明器具を設置する場合は、引掛けシーリングに付いている吊金具を利用して重量を保持

して下さい。さらに重

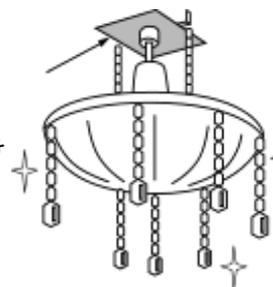
いシャンデリアなどは

補強が必要です。取付け

の際は、当社アフタ

ーサービス担当に

ご相談下さい



#### ●カレンダー等を壁に掛ける場合は石膏ボード

##### (壁掛け用)フックを使用する

木下地のないところのカレンダーや額縁等を取付ける場合は、日曜大工店などで市販している壁掛けフックを使用して

ください。細い2~3本

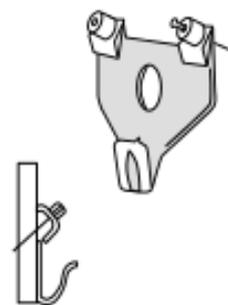
のピンで壁面に固定す

るので、それほど壁を

傷めることはありません

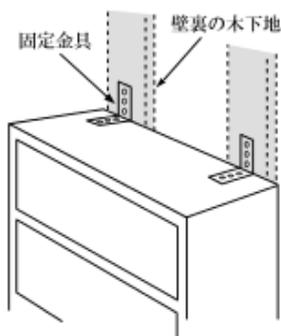
また、簡単に引き抜

いて移動することもできるため便利です。



#### ●耐震用金物の使用

耐震用金物を使用する場合も、木下地のあるところに固定してください。下地のないところではせっかくの金物も役にたちません



## ⑤換気等湿気対策を行ってください。

### ●カビの発生を防ぐには

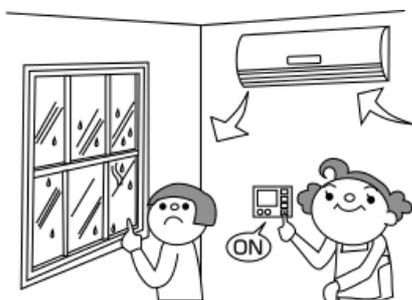
適度な湿度・水分・栄養の3点が揃うと、カビが繁殖を始めます。通常は20～30℃、湿度75%以上で、汚れなどの栄養分があれば盛んに繁殖します。

カビは、シミなどの汚れを作るだけでなく、アレルギー疾患の原因にもなります。カビの発生を防ぐには予防が第一。次の点に気をつけましょう

- ①換気扇を回すなどして、風通しを良くし、湿気を防ぎます。
- ②結露が出たらすぐ拭き取るようにしましょう。
- ③こまめにお掃除をして、カビの栄養源となる汚れをとりまします。

### ●結露は湿気と温度差が原因

結露とは、暖かい空気中に含まれている水蒸気が窓ガラスや屋外に面した壁などの表面で急激に冷却されその表面で水滴になる現象の事を言います。温かい部屋の中で、水を入れたガラスの表面に水滴がつくのと同一原理です。住まいの中ではサッシ、サッシ廻り、外壁に面した壁、押し入れ、物入れの中、家具の裏、浴室、洗面室トイレなどに結露が発生する場合があります。十分な換気を行ってください。又、乾いた布で結露をこまめに拭き取って下さい。



## ⑥防虫対策を行ってください。

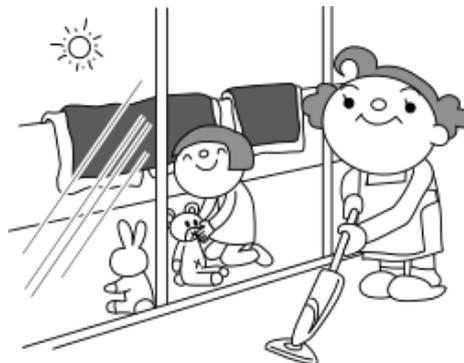
### ●ダニによる被害と予防方法

畳、カーペット、布団、ぬいぐるみなど、住まいにはダニが生息するのもってこの環境がそろっています。次の3つの点に、充分注意してダニの発生を防ぐように心掛けましょう。

- ①風通しを良くして、部屋の湿度が高くないようにする。

②こまめに掃除機をかけ、ダニのエサとなるゴミを取り除く。

③干せるものは、天気の良い日に2～3時間、日光にあてる。その際、黒い布などをかぶせると温度が高くなり効果的。



### ●シロアリ対策には床下・換気口の通気口の通気を確保する

シロアリは湿気の多い暗い場所が好きなので、常に床下の通気口をふさがないように注意が必要です。

### ●シロアリが発生したら当社へ連絡を

人目に触れない柱は梁・土台などの木材でシロアリの蝕害は進行します。構造材に防虫防蟻処理を施していますが、万一シロアリが発生した場合には、当社アフターサービス担当までご連絡下さい。

●ワンポイントメモーシロアリとアリの見分け方

シロアリは一見アリによく似ています。

	シロアリ	アリ
羽	○羽(はね)は細長く、4枚とも同じ大きさ ○前羽(ぜんし)と後羽(こうし)を別々に動かせる ○羽脈(しみやく)は網目状でこまいか	○後羽(こうし)は前羽(ぜんし)より小さい ○前羽(ぜんし)と後羽(こうし)を連結させて1枚の羽(はね)として動かせる ○羽脈(しみやく)は太くて少ない
胴	胸部と腹部は同じ太さでつながる	腹部の基部は細くびれている
脚	体の割に短い	体の割に長い
触角	ジュズ状	「く」の字形 ただし雄では「く」の字形ではない種類もある
図		

## 住まい方と注意点

### 無垢材に関する注意事項

◇無垢材フローリングに関する注意事項

- ・若干反ったり、膨張、収縮することがあります。巾木と床材との間にも隙間が発生することもあり、特に水等で濡れたりするとその傾向が強くなり、変色することもあります。  
(水等で濡れた場合はすみやかに拭き取りを行ってください。)
- ・掃除機にて床面を掃除する場合、掃除機本体を引きずると、商品によって床面の塗装をはがしたり傷をつけたりする恐れがあります。
- ・食卓テーブル、椅子などよく動かすものの中には、フェルト地等のクッションを貼るように心がけてください。
- ・市販されている水性のワックスは、出来るだけ使用しないでください。
- ・お引越の際など、重いものやダンボールなどを引きずらないでください。
- ・気候の変化によってフローリングが反ったり、ひびが入る場合がありますので、室内の温度、湿度管理を心がけてください。(ひびが入った時は、水拭き等は避けてください。)

## 住まいの手入れの目安

区 分		新築から2年以内	新築から3～4年	新築から5～7年	新築から10年
屋  根	金属板	釘が落ちていたり、瓦棒をふみつぶしたりすると早く錆が出る。	1回目の塗り替え。	2回目の塗り替え。以後3年周期で塗り替え。	トタンの合わせ目がすいていないか、赤錆の発生はないか徹底点検。
	瓦	アンテナ工事などで屋根に上がる時は谷部分に足をかける。		瓦の割れ、ずれを点検。	
	コロニアル		塗装の痛み具合に注意。	1回目の塗り替え。以後3～4年で塗り替え、割れ、ズレにも注意。	割れ、ズレに注意。
	雨間	毎年1回は清掃。点検以後も毎年清掃。		各部の痛み、反りの点検。痛み具合によっては交換	全体的に総点検が必要。部分的交換も必要になる。
外  壁	モルタル	ひび割れに注意。発見したら屋外用コーキングで埋める。	ひび割れの総点検と補修。汚れ具合で塗り替え。	1回目の塗り替え。以後3～4年で塗り替え(弾性塗料なら7～8年)。	総点検。剥げ落ちた部分はモルタルで補修。
	サイディング(木質系)		西日を受ける面は塗装に注意。浮き上がりがあれば塗り替え。	1回目の塗り替え。以後3年周期で塗り替え。隙間や割れがあれば塗装前に補修。	割れ、腐れに注意。必要があれば、一部取り替えも。
	サイディング(鉄板系)		4年目ぐらいから塗装に注意。変色、浮き上がり、錆の点検。必要があればトタン用塗料で補修塗り。以後は3年周期で塗り替え。		
門  塀	鉄製の門扉フェンス		赤さびはなるべく発生させないよう、塗装の浮き上がりなどがあればすぐ塗り替え。以後2～3年ごとに塗り替え。		
	ブロック塀	郵便受け口の下などは防水剤を塗ると汚れを防ぐことも出来る。	汚れは住居用洗剤で洗う。汚れ具合によっては塗装する。		強度を点検。グラグラするようなら、つくり直すか、補強の控え壁を建てる。
	木塀 木柵	防虫、防腐塗料か、木部用塗料を塗っておく。	汚れは塗膜の状況で塗り替え。以後2～3年ごとに塗り替え。		腐れがないかを調べ状況次第で部分修理または全体を作り直す。
水 ま わ り	トイレ	タンク内は年1回清掃。浮きゴムの周囲は特によく洗っておく。	パイプの水漏れはないか、タンクは正常に働いているかを点検。5～6年で部品交換の時期(交換には水道業者に依頼する)。適当な時に浮ゴム、ボールタップ用のパッキン、鎖などはそろえておく。		
	排水設備	最低年1回は排水管の脂肪層の除去を含めて清掃。排水桝は年2回ぐらいの清掃を目安に。			給水、排水共に、全体的にパイプの老化度
	給水設備	2年ぐらいで水栓蛇口のパッキンは交換が必要になる。ハンドルの下、取り付け部分なども水漏れがあれば、すぐパッキン交換。			水漏れがないかどうかをチェック。上水道は水道局などに依頼する。